

ティンクルなごや通信

| | |
|------------------------|-----|
| ティンクルまつり報告 | 1 |
| 新スタッフが語るティンクルなごや | 2-3 |
| ボランティアさん紹介 | 4 |

名古屋市重症心身障害児者施設
ティンクルなごや
指定管理者 社会福祉法人むつみ福祉会
名古屋市北区平手町1丁目1番地の5
TEL: 052-916-0333

第 **6** 号
2019年 8月

2019年6月1日 ティンクルまつりを開催しました

ティンクルなごやは、今年で開設して5年目に入りました。

6月始めに、毎年恒例となっているティンクルまつりを開催しました。施設前に広がるウエルネスガーデンの芝生には、模擬店のテントが並びました。大きな屋根の下では、バルーンアートや漫才、ダンス、合唱などを披露していただきました。ご家族や、地域の協力団体の皆さん、中学生・高校生の皆さん、たくさんの方に盛り上げていただきました。どうもありがとうございました。

以前、利用者さんのご家族から「この施設にとって、ウエルネスガーデンが目の前にあるのは宝だね」と声をかけられたことがあります。スタッフは、年に1度のこの日を良いお天気で迎えられるかと心配するのですが、皆さんと外で一緒に過ごすこの時間は格別です。ショートステイで利用されている方も遊びに来てくださって、さわやかな風に吹かれながらお話できるのも、嬉しいひとときになりました。



「こんなイベントが開かれていたんですね、初めて来ました」と気軽にお出かけいただけるのも、この開放的な場所の良いところだと思います。施設内にも立ち寄られ、「普段、利用者さんはどのような生活をしているの？」などとスタッフに質問してくださった方もいました。

ティンクルなごやを知っていただける良い機会になるように、皆さんに毎年楽しみにしていただける日になるように、これからも続けていきたいと思ひます。



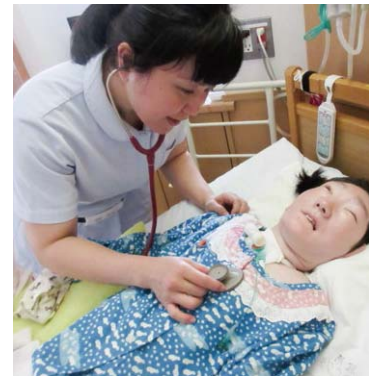
新スタッフが語るティンクルなごや

今年も、ティンクルなごやには、新しいスタッフがたくさん入ってきました。
5人の新しいスタッフに、次のような質問を投げかけてみました。
新鮮な目線でティンクルなごやの紹介をしてもらいましょう。

- ① どんな思いを抱いて、ティンクルに入職しましたか。
- ② 入職してから、ティンクルについて新しく気付いたことや感じたことはありますか。
- ③ 今後、ティンクルでどのような働きをしていきたいですか。

利用者さんの笑顔を励みに

- ① ある疾患により完全失聴で半年ほどを過ごした経験から、重症心身障害児者の看護に関心を持つようになりました。
- ② 当初は、人見知りの強い利用者さんに私の緊張が伝わってしまうことが多く、食事の介助では口を閉ざしてしまう方、吐いてしまった方、関わったその晩に発熱してしまった方などがみえて、私自身も悩みました。そんな時、周りのスタッフが声を掛けて一緒に介入してくれたり、その利用者さんに対する関わり方のアドバイスをくれたり、その利用者さんを早く理解できるようにサポートしてくれました。そのおかげで、利用者さんが笑顔を見せてくれる機会が少しずつ増えていき、今では、それが励みになっています。
- ③ 利用者さんが抱える多様で複雑な問題を把握することは容易ではありませんが、理解する努力を続け、一人ひとりの笑顔をより多く引き出せるような援助を心がけていきたいと思います。



<2階>
看護師 三尾 美優紀

利用者さんの感情を読み取ることができるように

- ① 以前も、重症心身障害児者の方が入院されている病院に勤めていたので、また新たな学びや考え方を身に付けることができるのではないかと思います。
- ② ティンクルでは、利用者さんの全居室にリフトが備えつけられています。そのおかげで、移乗介助の際にかかる身体への負担が前職に比べて軽くなりました。また、周りのスタッフも穏やかな方が多く、良い環境だと感じています。
- ③ 利用者さんは、自分の思いを言葉で表現できない方がほとんどです。毎日の利用者さんとの関わりの中で、小さな反応や表情の変化から、感情を読み取ることができるように努めていきたいです。



<3階東>
看護師 小久保 晴加

利用者さんにとっての家庭であることを忘れずに

- 1 重症心身障害児者の看護は全く経験がなかったため、できるだろうかと不安がある一方、新たな職場への挑戦と期待の思いがありました。
- 2 利用者さんの日常生活の支援がとても丁寧で手厚いと感じました。週3回の入浴をしたり、一人ひとりに合った体位変換やポジショニング、また、経管栄養の方も食事摂取の方と同じようにデイルームに集まることなど、他にもたくさんあります。一つひとつは特別なケアではありませんが、利用者さんに快適に過ごしていただくために、それらを毎日継続して行っていることがすごいと思います。
- 3 利用者さんにとって、ティンクルは家庭であることを忘れず、心地よい環境を提供すること、そして利用者さんとの関わり合いの中で、表情やしぐさを読み取り、わずかな変化にも気付けるような観察力を身につけていくことが、目標です。



<3階東>
看護師 鈴木 裕加

利用者さんを知ることができる療育の時間

- 1 高齢者施設での仕事経験はありましたが、障害のある方の生活支援は初めてでしたので、利用者さんへの接し方や介護方法の違いについて不安がありました。
- 2 ティンクルでは療育活動の時間がほぼ毎日の午後にあるので、利用者さんとたくさん触れ合うことができます。先日の療育活動では、トランポリンの上に利用者さんに座っていただき、私たちがマットを揺らしてみたとこ、利用者さんはゆらゆら揺れながら、普段とは違った豊かな表情を見せてくださいました。身の回りのお世話だけではわからない利用者さんの一面を知ることができる貴重な療育の時間です。
- 3 ティンクルで生活支援員の一員として、他のスタッフ、利用者さん、ご家族から信頼をしていただけるように頑張っていきたいです。



<3階東>
生活支援員 久保 綾乃

一日を穏やかに過ごしていただけるように

- 1 利用者さんの毎日の生活に関わらせていただくので、まず安心してもらえる存在になりたいという思いと、同時に、介護の知識も経験もないため、少しだけ不安もありました。
- 2 利用者さんが声や行動で何かを伝えているとき、近くにいるスタッフはもちろんのこと、離れた場所で声を聞いたスタッフがすぐに近寄り、利用者さんに声を掛けて楽しそうにやりとりをしている姿を見て、温かい現場だな、と思いました。このように、利用者さんがありのままに伝えたいことを表現できて、それを当たり前スタッフを楽しそうに、または真剣に受け取ることのできる職場は素敵だな、と感じました。
- 3 日々の介助の技術や知識の理解を深めることと、利用者さん一人ひとりに合った介助方法で、一日を穏やかに過ごしていただけるように学んでいくことが、今の私の目標です。



<3階西>
生活支援員 大江 菜月

ボランティアさん紹介～笹井さんご夫婦へインタビュー～

ティンクルなごやでは、私たちスタッフ以外にも利用者さんを支える人たちが多くいます。その中に、週に1度お見えになる、ボランティアの笹井さんご夫婦がいらっしゃいます。いつも明るく笑顔で利用者さんに声を掛けてくださるそんなお二人に、今回は、その笑顔の秘訣、ボランティアを始めた理由など、様々なお話をお聞きしました。

■ティンクルでのボランティアを始めたきっかけは？

奥様：私は元々世話焼きな性分なのですが、主人が定年を迎え、家にいることが多くなった時「一緒にボランティアをやってみない？」と声を掛けたことがきっかけです。

ご主人：妻と散歩するコースがティンクルの近くで、散歩中にイベントをやっていると、よく立ち寄っていました。

■ティンクルなごやでボランティアをしてみようでしたか？

奥様：よく周りからは「障害者の方の施設ってどう？」って聞かれるんです。それがどんな意味の「どう？」かは分からないけれど、私は来て良かったと思いますね。来てみて分かりましたが、障害を持っている方でも気持ちを伝えたい意思はすごく伝わってきます。言葉が話せなくても、目で訴えてくることもたくさんあって。だから私は皆さんのことが大好きです。

ご主人：ここは若いスタッフもたくさんいて、とてもエネルギッシュな場所です。利用者さんだけではなく、スタッフの皆さんからもたくさんエネルギーをもらっているから、私自身も頑張れるんだと思います。

■これからボランティアを始めたいと思っている人にメッセージを！

奥様：ボランティアってお給料もいただかないし、参加するためにお金を払う訳じゃないので、無料で挑戦できますよ。

ご主人：妻は本当に昔から世話焼きで、私も圧倒されることが多いですけど、妻と一緒にボランティアに参加すると楽しいし、「自分もできることがあるんだ」と自信にもなります。やることのないなって思っている高齢の方でもできることはあると思うので、是非とも参加していただきたいと思いますね。

貴重なお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。ティンクルなごやでは、特技やパフォーマンスを披露したい方はもちろん、笹井さんご夫婦のように「やれることがあるかわからないけれど、やってみたい！」という方も求めています。まずはお気軽にご連絡ください。常にティンクルなごやの扉は皆さんに開かれています！

(3階西生活支援員 鈴木 祐太郎)



■公共交通機関でお越しの方

○栄より／市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車

○名古屋駅より／市バス名駅13系統「又穂住宅東」

／市バス名駅15系統「城見通二丁目」下車

■お車でお越しの方 「黒川」出口から約10分です。

名古屋市重症心身障害児者施設 〒462-0057
ティンクルなごや 名古屋市北区平手町1丁目1番地の5
(指定管理者) 社会福祉法人 むつみ福祉会 TEL: 052-916-0333
FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<http://twinkle-nagoya.com>

